

令和元年度基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター業務報告

事業項目	事業内容	実施計画	「基幹型」、「在支・包括」の業務分担	実施状況	成果及び今後の展望
包括的支援事業 総合相談支援業務	初期段階での相談対応及び継続的・専門的な相談支援、その実施に当たって必要となるネットワークの構築【継続】	令和元年度継続実施	<基幹型> 主に、庁内連携や関係機関との連携対応が必要な場合の相談支援 <在支・包括> 主に、在宅の方の相談支援	・引き続き、相談対応については重点をおいて取り組みを実施。相談実人数、相談支援業務延べ数、相談者の区分、相談内容、訪問による相談結果については、資料7-2の2~5ページ参照。 ・熱中症予防シートを活用した実態把握については以下のとおり。 (内容) ひとり暮らし・高齢者のみ世帯を中心に熱中症予防シートを配布することにより、熱中症への注意を喚起し、室内での熱中症を予防する。あわせて、地域包括支援センター職員等が高齢者の実態把握訪問を行う際の手段として活用し、円滑な実態把握につなげる。 <配布実績> 民生児童委員 550 枚、ケアマネージャー1,350 枚、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター等 528 枚、計 2,728 枚 ※配布結果についてアンケートを実施 <配布期間> 令和元年6月1日~9月30日	
	要介護認定の新規申請者の実態把握及び台帳作成【継続】	令和元年度継続実施	<在支・包括> 主に、在宅の方の相談支援	平成31年4月~令和2年3月までの在宅介護・地域包括支援センターの要介護認定調査件数 ・ゆとりえ 708 件 ・吉祥寺本町 263 件 ・高齢者総合センター 809 件 ・吉祥寺ナーシング 364 件 ・桜堤ケアハウス 638 件 ・武蔵野赤十字 314 件 在宅介護・地域包括支援センター合計 3,096 件	

	介護サービス未利用者の定期的な実態把握【継続】	令和元年度継続実施	<p><在支・包括> 介護サービス未利用者の生活実態を定期的に把握し、必要時に適切な介護予防事業や支援につなげる。</p>	資料7-3参照	
権利擁護業務	介護サービス事業者及びケアマネジャーに対する虐待に関する研修の実施【継続】	年4回	<p><基幹型> 研修会の方向性及び内容の検討、研修会の開催 <在支・包括> 基幹型と連携して、研修内容の検討、研修会の実施</p>	<p>高齢者虐待対応研修会 「高齢者虐待の基本的知識と対応を学ぶ」 【講義】（講師 基幹型、在宅介護・地域包括支援センター社会福祉士） 令和元年7月10日（水）午後6時30分～午後8時30分 市役所811会議室 参加者26名 【講義及びグループワーク】 （講師：公社団法人 東京社会福祉士会 権利擁護センターぱあととあ東京 社会福祉士） 令和元年12月16日（月）午後6時30分～午後8時30分 市役所811会議室 参加者48名</p>	
	市民に対する虐待防止に関する普及啓発の実施【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を行う</p>	<p>社会福祉士連絡会で検討して、市民説明用のパワーポイント資料作成。 次年度、6ヵ所の在宅介護・地域包括支援センターと地域の民生委員の情報交換会時に周知予定。</p>	
	高齢者及び障害者虐待防止連絡会議の実施【継続】	年2回	<p><基幹型> ・障害者福祉課と共催で開催 ・関係各課や機関とともに、虐待防止の取り組みについて検討 <在支・包括> ・会議に参加 ・ネットワークを活用した個別支援</p>	<p>【参加団体】武蔵野警察署、多摩府中保健所、地域活動支援センター地域生活支援センターびーと、地域活動支援センターライフサポートMEW、地域活動センターコット、地域自立支援協議会権利擁護部会、武蔵野市福祉公社権利擁護センター、在宅介護・地域包括支援センター、武蔵野市障害者福祉センター、地域支援課、生活福祉課、健康課、高齢者支援課、障害者福祉課、子ども家庭支援センター、 第1回 令和元年7月10日（水）市役所411会議室 第2回 令和2年1月30日（木）市役所812会議室</p>	

	<p>見守り・孤立防止ネットワークの強化【継続】 (孤立防止に加え、消費者被害防止、防犯対策を目的とした庁内及び関係機関の連携強化)</p>	<p>連絡協議会の開催 2回</p>	<p><基幹型> 関係各課や機関と連携して開催 <在支・包括> ・会議に出席 ・ネットワークを活用した個別支援</p>	<p>【参加団体】東京都住宅供給公社、都市再生機構、東京都宅地建物取引業協会武蔵野中央支部、多摩新聞販売同業組合武蔵野支部、東京ガス株式会社西部支店、東京電力パワーグリッド株式会社武蔵野支社、武蔵野市シルバー人材センター、武蔵野郵便局及び市内郵便局代表、水道部、武蔵野市居宅介護支援事業者連絡協議会、弁当宅配業者、ヤマト運輸株式会社、生活協同組合コープみらい東久留米センター、生活協同組合パルシステム東京、セブン-イレブン・ジャパン、イトーヨーカ堂、武蔵野市商店会連合会、第一生命株式会社、明治安田生命保険相互会社、東都生活協同組合、東京ハイヤー・タクシー協会武三支部、武蔵野警察署、武蔵野消防署、武蔵野市医師会、東京都武蔵野市歯科医師会、武蔵野市薬剤師会、武蔵野市柔道整復師会、武蔵野市民生児童委員協議会、武蔵野市民社会福祉協議会、在宅介護・地域包括支援センター、健康福祉部各課、防災安全部安全対策課、子ども家庭部子ども家庭支援センター、都市整備部住宅対策課、市民部生活経済課</p> <p>・第1回：令和元年7月23日(火)午前10時～11時30分 市役所802会議室 関係機関からの通報対応事例について、最近の安全対策についての取り組みについて、消費者被害について、生活困窮者自立支援相談受付状況等について、武蔵野市自殺総合対策計画について、ひとり暮らし高齢者を支援する武蔵野市の取り組みについて</p> <p>・第2回：令和2年1月28日(火)午前10時～11時30分 市役所811会議室 関係機関からの通報対応事例について、最近の安全対策についての取り組みについて、防犯対策について、消費者被害について、生活困窮者自立支援相談受付状況等について</p>	
	<p>エンディング(終活)支援事業【新規】</p>	<p>令和元年度新規</p>	<p><基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発の実施</p>	<p>・ゆとりえ 令和元年9月21日(土)井の頭お茶の水会 参加者 23名 11月17日(日)福祉の輪(地域社共) 14名 11月22日(金)東部福祉の会(若葉会) 18名 令和2年1月15日(水)本田北クラブ(老人クラブ) 12名</p> <p>・吉祥寺本町 令和元年11月22日(金)本町在支デイ・ショート等職員 13名</p>	

				<p>令和2年2月19日(水) 三水会 10名</p> <p>・高齢者総合センター</p> <p>令和元年11月16日(土) みどり会(老人クラブ) 36名</p> <p>〃 11月28日(木) 緑町パークタウン自治会 7名</p> <p>〃 12月20日(金) 緑町コミュニティ協議会 26名</p> <p>〃 12月20日(金) 中央第一地区別ケース検討会 21名</p> <p>令和2年2月4日(火) 中央福祉の会(りんどうの会) 29名</p> <p>・吉祥寺ナーシング</p> <p>令和元年7月25日(木) 家族介護者の会 15名</p> <p>・桜堤ケアハウス</p> <p>令和元年8月29日(木) さくら会(老人クラブ) 34名</p> <p>〃 10月24日(木) 境5丁目クラブ(いきいきサロン) 21名</p> <p>〃 11月13日(土) テンミリオンハウスきんもくせい 22名</p> <p>〃 12月4日(水) 境5丁目西交会 22名</p> <p>令和2年2月8日(土) ふれあい喫茶(桜堤UR集会所) 40名</p> <p>・武蔵野赤十字</p> <p>令和元年7月23日(火) 境南みつわクラブ(老人クラブ) 28名</p> <p>〃 7月30日(火) 地域民生委員 9名</p> <p>〃 8月17日(土) ほっとカフェ 19名</p> <p>〃 9月17日(火) 一丁目ネットワーク(地域社協) 26名</p> <p>〃 9月21日(土) みつわ会(老人クラブ) 46名</p> <p>〃 10月4日(金) 花時計運営スタッフ 8名</p> <p>〃 10月8日(火) 境南コミセン 19名</p> <p>〃 10月15日(火) 三丁目ふぁんくらぶ(地域社協) 12名</p> <p>〃 10月25日(金) 花時計(テンミリオンハウス) 5名</p> <p>〃 11月13日(水)</p> <p style="padding-left: 40px;">ジャスミンの集いボランティア(地域住民) 8名</p> <p>〃 12月12日(木) 境南地域社協2丁目会 52名</p>	
介護予防ケアマネジメント業務	介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケア	令和元年度継続	<p><基幹型></p> <p>・武蔵野市独自様式の評価</p> <p>・介護予防検討会議の実施</p>	ケアプラン作成件数等については資料7-2の9ページを参照	

	マネジメントの実施【継続】		(事業対象から要支援 1.2 の方の個別地域ケア会議) ・サービス担当者会議への出席等によりケアの質を維持向上																																								
包括的・継続的マネジメント支援業務	主任ケアマネジャー研修の実施【継続】	年1回	<基幹型> 研修企画・開催 <在支・包括> 基幹型と連携して研修を企画・開催	主任介護支援専門員研修を開催 目的：居宅介護支援事業所に所属する主任介護支援専門員の役割として以下のことを行えるようにする ①個別事例検討会のスーパーバイズ ②個別地域ケア会議への参画 ③エリア別地域ケア会議のファシリテーター 日時：令和元年5月13日(月) 午後6時30分～午後9時30分 場所：市役所 811 会議室 テーマ：「スーパーバイズの視点と実践を学ぶ」 講師：日本ケアマネジメント学会 相田里香氏 参加者：44 名																																							
	ケアプラン指導研修の実施【継続】	年12回 [個別ケース検討数：年114件]	<基幹型> 研修委員会の運営 <在支・包括> 委員として出席	<table border="0"> <tr> <td>第1回平成31年4月24日(水)</td> <td>事例数</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>第2回令和元年5月29日(水)</td> <td>〃</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>第3回令和元年6月26日(水)</td> <td>〃</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>第4回令和元年7月24日(水)</td> <td>〃</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>第5回令和元年8月28日(水)</td> <td>〃</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>第6回令和元年9月25日(水)</td> <td>〃</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>第7回令和元年10月30日(水)</td> <td>〃</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>第8回令和元年11月27日(水)</td> <td>〃</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>第9回令和元年12月18日(水)</td> <td>〃</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>第10回令和2年1月22日(金)</td> <td>〃</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>第11回令和2年2月19日(金)</td> <td>〃</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>第12回令和2年3月11日(木)</td> <td>〃</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">合計 114 事例 (ケアマネジャー113名)</td> </tr> </table> ケアプラン研修フォローアップ研修	第1回平成31年4月24日(水)	事例数	8	第2回令和元年5月29日(水)	〃	12	第3回令和元年6月26日(水)	〃	11	第4回令和元年7月24日(水)	〃	7	第5回令和元年8月28日(水)	〃	8	第6回令和元年9月25日(水)	〃	6	第7回令和元年10月30日(水)	〃	9	第8回令和元年11月27日(水)	〃	12	第9回令和元年12月18日(水)	〃	12	第10回令和2年1月22日(金)	〃	11	第11回令和2年2月19日(金)	〃	11	第12回令和2年3月11日(木)	〃	7	合計 114 事例 (ケアマネジャー113名)		
第1回平成31年4月24日(水)	事例数	8																																									
第2回令和元年5月29日(水)	〃	12																																									
第3回令和元年6月26日(水)	〃	11																																									
第4回令和元年7月24日(水)	〃	7																																									
第5回令和元年8月28日(水)	〃	8																																									
第6回令和元年9月25日(水)	〃	6																																									
第7回令和元年10月30日(水)	〃	9																																									
第8回令和元年11月27日(水)	〃	12																																									
第9回令和元年12月18日(水)	〃	12																																									
第10回令和2年1月22日(金)	〃	11																																									
第11回令和2年2月19日(金)	〃	11																																									
第12回令和2年3月11日(木)	〃	7																																									
合計 114 事例 (ケアマネジャー113名)																																											

				目的：リ・アセスメント支援シートを活用したケアプラン作成の方法を学ぶ 日時：令和元年6月17日（月）午後6時30分～午後8時30分 場所：市役所811会議室 テーマ：「ケアマネジメントの質の向上研修」 講師 基幹型ならびに市内在宅介護・地域包括支援センター主任ケアマネジャー 参加者：28名	
	地区別ケース検討会における事例検討の実施【継続】	年30回 （センター毎に年5回） [個別ケース検討件数：年31件]	<基幹型> 地区別ケース検討会の開催支援 <在支・包括> ・地区別ケース検討会の開催 ・事例検討のスーパーバイズを在宅介護支援事業所と連携して実施	ゆとりえ（東部第1） ①令和元年6月21日（金） 事例検討『不安でサービスを受け入れられない高齢夫婦へのアプローチ』 ②令和元年9月19日（木） 事例検討『家族の思いにどう耳を傾ける～認知症高齢者夫婦の支援をふりかえる～』 ③令和元年10月17日（木）事例検討『Mさんの頑張りを引き出す支援とは』 ④令和元年12月19日（木） 事例検討『意向が違う家族にケアマネジャーはどのように関わったらいいのか』 ⑤令和2年1月16日（木） 事例検討『認知症の夫を軽度認知症の妻が支える在宅支援を考える』 吉祥寺本町（東部第2） ① 令和元年6月19日（水） 事例検討『ケアマネの思いと家族のニーズに差がある時』 ② 令和元年7月17日（水） 事例検討『限られた生活環境の中で本人らしく暮らすには？』 ③ 令和元年10月16日（水） 事例検討『権利擁護が必要な家族を抱える、利用者の支援について考える』	

				<p>④ 令和元年11月20日(水) 事例検討『言うことがたびたび変わる人に振り回されない支援とは』</p> <p>⑤ 令和2年1月15日(水) 事例検討『本人の生活リズムを変えずに長女の介護負担軽減を図るためには』</p> <p>高齢者総合センター(中央第1)</p> <p>① 令和元年6月21日(金) 事例検討『圧迫骨折により姉への依存が強くなった聴覚障害がある利用者～悪循環を断ち切り本人らしい生活を送るためにケアマネとしてできることは～』</p> <p>② 令和元年9月20日(金) 事例検討『家族に負担をかけずに自分らしく生活を送るためにできることを考える。』</p> <p>③ 令和元年10月18日(水) 事例検討『被害妄想の利用者への支援とは』</p> <p>④ 令和元年11月15日(金) 事例検討『家族の思いが強く、本人の気持ちが分からないとき、どのように本人の気持ちを引き出せばよいのか』</p> <p>⑤ 令和2年1月17日(金) 事例検討『脳血管疾患がある閉じこもりの本人と主介護者を支えるには』</p> <p>吉祥寺ナーシングホーム(中央第2)</p> <p>① 令和元年6月13日(木) 事例検討『認知症の診断を受けているが独居で、金銭被害が危ぶまれるケースへの支援』</p> <p>② 令和元年9月12日(木) 事例検討『重複障がいのあるケースとその家族への支援』</p> <p>③ 令和元年11月14日(木) 事例検討『本人の病識がなく、必要なサービスの利用につながらないケースへの支援』</p> <p>④ 令和2年1月9日(木) 事例検討『認知症・独居・身寄りのないケースに対し、本人の変化に応じた支援を進めるためにはどのような準備が必要か』</p>	
--	--	--	--	--	--

				<p>⑤ 令和2年2月13日(木) 事例検討『本人の状態に合わせた支援の提案を受け入れられない家族へのアプローチ』</p> <p>桜堤ケアハウス(西部第1)</p> <p>① 令和元年7月16日(火) 事例検討『看護小規模多機能型居宅介護を活用した高齢夫婦の支援について』</p> <p>② 令和元年9月16日(月) 事例検討『精神疾患が疑われる独居高齢者の支援』</p> <p>③ 令和元年10月15日(火) 事例検討『意欲低下がある認知症高齢者の支援について』</p> <p>④ 令和元年11月19日(火) 事例検討『要介護状態にある老老夫婦への支援について』</p> <p>⑤ 令和元年12月17日(火) 事例検討『家族と連絡が取れない独居高齢者の支援について』</p> <p>武蔵野赤十字(西部第2)</p> <p>① 令和元年6月20日(木) 事例検討『ケアマネジャーに必要な家族理解～家族との関わり方、家族の調和をどのようにとっていったら良いか～』</p> <p>② 令和元年7月18日(木) 事例検討『ケアマネジャーに必要なリハビリテーションの視点～生活の質を上げるリハビリテーションとは～』</p> <p>③ 令和元年8月22日(木) 事例検討『地域と施設が協働するためには～家族とのこと、これからのこと、0さんらしい暮らしを実現していくために～』</p> <p>④ 令和元年10月17日(木) 事例検討『糖尿病の独居利用者の生活の質を高めるための支援』</p> <p>⑤ 令和元年12月19日(木) 事例検討『まわりをふりまわす家族に対してケアマネジャーはどう対応すれば良いか』</p> <p>⑥ 令和2年2月20日(木) 事例検討『難病を抱えながらも自分らしく生きるための人生会議とは～「入院はいやだ」という気持ちをどのように支えていけばよいか～』</p>	
--	--	--	--	--	--

地域ケア会議推進事業	個別地域ケア会議の開催【継続】	年18回 (各センター年3回)	<基幹型> 開催方法の検討・整理 <在支・包括> 会議開催	資料7-4 2～7ページ参照	
	エリア別地域ケア会議の開催【継続】	年6回 (各センター年1回)	<基幹型> 開催支援 <在支・包括> 会議開催	資料7-4 8～9ページ参照	
	全市的な地域ケア会議の開催【継続】	年1回	<基幹型> 会議内容について関係課と調整等 <在支・包括> 会議に出席	武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会 多職種連携推進・研修部会 事前研修会及び合同研修会を開催 事前研修会 日時：令和元年9月25日(水) 午後6時30分～8時 場所：市役所811会議室 講師：角田ますみ(杏林大学保健学部准教授) 内容：「その人」らしく生きるためのアドバンス・ケア・プランニング～意思決定支援としてのACP～ 参加者：各事業所連絡会より参加希望者 計147名 合同研修会 日時：令和元年10月10日(木) 午後7時～9時 場所：市役所811会議室 内容：「アドバンス・ケア・プランニング ACP」についてのグループワーク 参加者：各事業所連絡会より推薦された者 計77名	令和元年度は、「ACP」をテーマとして武蔵野市訪問看護・訪問リハビリテーション事業者連絡会議を中心に多職種連携推進・研修部会として、合同研修会を企画・実施した。ACPに対する概念は、職種によってバラツキがあるため、ACPについての理解を深めるための事前研修会を合同研修会の前に行った。
	「脳卒中地域連携パス」等、多職種連携のツールの検証や活用する方	令和元年度継続	<基幹型> 地域支援課と連携して方策を検討 <在介・包括> 基幹型と連携して方策を検討	・脳卒中地域連携パス運用実績 169件	

	策の検討【継続】				
在宅医療・介護連携推進事業	在宅医療介護連携支援室（武蔵野市医師会）と協働した医療介護連携の取組推進【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> 在宅医療介護連携支援室と連携・調整し、相談に対応</p> <p><在支・包括> 医療介護連携に関する相談機能を強化</p>	武蔵野市在宅医療介護連携支援室（平成27年7月に武蔵野市医師会内に開設）の活動実績 （令和元年度実績） <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数：203件 相談内容：在宅療養調整73件、入院入所調整23件、退院支援14件、転院支援27件、MCS19件、その他47件 ・相談元：ケアマネジャー74件、医療機関56件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター41件、通所系4件、訪問看護3件、施設系3件、訪問介護0件、その他22件 ・訪問件数：123件 訪問先：医療機関57件、ケアマネジャー15件、基幹型及び在宅介護・地域包括支援センター20件、通所系4件、訪問看護7件、有料老人ホーム6件、施設系2件、訪問介護0件、他区市連携支援室0件、その他12件 ・地域包括支援センター等と連携・調整し、相談に対応。 	
	入退院時支援・在宅医療介護連携の調整【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> 武蔵野市医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整</p> <p><在支・包括> 連携・相談の強化</p>	・武蔵野市在宅医療・介護連携推進協議会の入退院支援部会の部会員として参加。 そこで令和元年度作成した「入院時の情報連携シートの活用」と「入院時情報連携シート」を活用した退院時における情報連携の取組についての検討をした。 また、身寄りのない方の入院時の対応や摂食嚥下障害を残し自宅療養に移行する患者の事例を通して、医療介護それぞれの立場から意見交換を行った。次年度も継続して、仕組み作りを行う。	
	摂食嚥下支援体制の整備・推進【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> 武蔵野市歯科医師会・地域支援課・関係機関と連携・調整</p> <p><在支・包括> ・個別事例の支援</p>	・通所介護を利用している12例で試行。本人、家族、歯科医師会、ケアマネジャー、通所介護事業所、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり、摂食嚥下の評価、支援計画作成と実施を行った。	

			・ケアマネジャーがいる場合は、ケアマネジャー支援として摂食嚥下支援のカンファレンスに出席		
生活支援体制整備事業	生活支援コーディネーターを中心とした地域の自主的な取り組みの支援【継続】	令和元年度継続 地域住民が自主的に運営する多様な通いの場(*)を支援 *テンミリオハウス、いきいきサロン等	〈基幹型〉 第2層の後方支援 〈在支・包括〉 「いきいきサロン」等の社会資源の立ち上げ支援、事業の継続・発展支援	資料6参照	
	生活支援サービス整備に関する定期的な情報共有や連携強化等のための協議体の運営【継続】	令和元年度継続	〈基幹型〉 ・第1層(市全体レベル)の協議体として位置づけている「地域包括ケア推進協議会」の開催、報告 ・生活支援コーディネーター連絡会議の開催	資料6参照	

			<p><在支・包括></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーター会議に出席 ・各地域での協議会への参加 		
認知症総合支援事業	認知症コーディネーター（認知症地域支援推進員）の配置による認知症連携の強化【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・在支・包括の後方支援 ・武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センターや武蔵野市医師会と連携した認知症初期集中支援チームの支援により、適切な医療・介護につなぐ <p><在支・包括></p> <p>認知症初期集中支援チーム等の仕組みを活用し、認知症の早期発見・早期対応に取り組む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師等連絡会議（旧認知症コーディネーター会議） 認知症コーディネーターである保健師による会議を定期的に行い、認知症に関する地域づくりや支援体制の整備について議論を行う。年6回実施 ・認知症相談 認知症に関する相談に応じて適切な医療・介護につなぐ。 ・認知症サポーター養成講座及び介護予防講座資料の作成 既存の認知症サポーター養成講座資料を汎用性の高いものに作り替え、講座の内容や質の均一化を図った。 ・認知症サポーターステップアップ講座 意欲ある認知症サポーターが、地域で暮らす認知症の方とその家族を支えるために必要な具体的知識やスキルを習得し、自主的な地域支援活動に取り組むきっかけをつくる講座を開催。 ・地域認知症講座「ききたいことをきいてみよう！認知症」 コミュニティセンター単位で、認知症専門医から認知症に関する知識や対応方法を学ぶ講座を開催。平成31年度3回開催、平成28年度から延べ15回。 	
	在宅医療・介護連携推進協議会 認知症連携部会の運営【継続】	年3回程度	<p><基幹型></p> <p>会議開催</p> <p><在支・包括></p> <p>会議に参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会、認知症疾患医療センター等の医療関係者と、居宅介護支援事業者、認知症対応型通所介護事業者等介護事業所関係者、在宅介護・地域包括支援センター職員、行政職員など、計21名で構成。 ・認知症高齢者支援のための在宅医療・介護連携体制の構築・推進に関する事項のうち、主として以下の事項について検討することを目的とし、年度内に3回の部会を開催。 	医療・介護連携による認知症高齢者の支援推進に向け、事例検討会の開催や相談窓口の整理などを検討していくこととなった。

				<p>○1回目の部会では、医療・介護連携による認知症高齢者支援スキームである初期集中支援事業の説明と、部会員がチーム員として関与した事例の紹介が行われ、介護事業関係者に対する研修会の実施が提案された。10月には部会主催の研修会が2回行われ、2回目の部会では研修会のアンケート結果の報告、部会員による意見交換、次年度に向けての課題抽出が行われた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回部会：令和元年 8月8日開催 部会員 17名出席 ・研修会：第1回 令和元年10月16日開催、 第2回 令和元年10月18日開催 参加者計 68名 ・第2回部会：令和2年 1月23日開催 部会員 13名出席 	
	もの忘れ相談シートの活用促進【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> シートの活用・周知等 <在支・包括> 認知症相談や認知症症状で医療機関に受診する際に、物忘れ相談シートを積極的に活用</p>	<p>○もの忘れ相談シート活用件数ー合計 33件活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症相談-45件（在支・包括実施分）、9月休日相談会ー33件 <p>※3月の休日相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	
	認知症相談事業の実施【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型></p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談会の開催 ・相談会から見える課題とその課題を解決するための検討 <p><在支・包括> 相談会に同席し、助言を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月3回、市役所または在宅介護・地域包括支援センターを会場にした認知症予防財団相談員による認知症相談を実施。相談件数：年 69件 ・医師会と協働した認知症相談の実施 <p>9月の「認知症を知る月間」で、医師会の医師（もの忘れ相談医）による休日相談会を実施した（相談件数：33件）。医師の相談には、認知症コーディネーターが同席し、相談内容に応じて介護サービスにつなぐ。</p> <p>3月29日に開催予定であったもの忘れ相談医による休日相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した（予約制。予約件数：8件）</p>	相談に応じて適切な医療・介護サービスにつなぐ。

	認知症初期集中支援チームの運用【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> 認知症初期集中支援チームの評価 <在支・包括> 認知症初期集中支援チームの運用</p>	<p>・令和元年度5件実施 本人・家族、かかりつけ医、認知症サポート医、武蔵野赤十字病院認知症疾患医療センター相談員、基幹型、在支・地域包括支援センター等がチームとなり認知症の方々の課題解決のため取組をした。</p>													
	認知症に関する普及・啓発【継続】	令和元年度継続	<p><基幹型> 普及啓発方法の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及啓発を実施</p>	<p>・認知症サポーター養成講座の実施 講座開催数：46回（内：定例実施7回） 延受講者数：1,737名 令和元年度は土曜（2回）や夜間講座を開催。</p> <p>・認知症サポーターステップアップ講座の実施（連続講座） 令和元年度は5連続講座を1回開催</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回（講義）</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>第2回（当事者によるお話し）</td> <td>33名</td> </tr> <tr> <td>第3回（グループに分かれて施設見学）</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>※施設見学振返り</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>第4回（認知症の方への声かけ講座）</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>第5回（グループワーク）「地域で何が出来るか考えてみよう」</td> <td>10名</td> </tr> </table> <p>・地域認知症講座の実施 令和元年度は3回開催。 テーマ：「聞きたいことを聞いてみよう！認知症」 講師：繁田雅弘氏（東京慈恵会医科大学精神医学講座教授） 日時、場所、参加人数：※開催時間はすべて1時間30分 令和元年6月28日（金）本町コミュニティセンター23名、7月13日（土）西久保コミュニティセンター71名、令和2年1月28日（火）関前コミュニティセンター34名</p>	第1回（講義）	37名	第2回（当事者によるお話し）	33名	第3回（グループに分かれて施設見学）	20名	※施設見学振返り	17名	第4回（認知症の方への声かけ講座）	14名	第5回（グループワーク）「地域で何が出来るか考えてみよう」	10名	<p>・認知症になっても安心して生活できる地域づくりを推進するために、一般市民や企業、各種団体等に対して実施していくほか、土曜・夜などの開催により受講機会の拡大を図っていく。</p> <p>・認知症の理解者から支援者としての活躍に向け、在宅介護・地域包括支援センターの認知症コーディネーターが企画、運営。年間を通じた連続講座として実施し、具体的な地域活動へとつなぐ。</p> <p>・認知症の普及啓発を図るため、在宅介護・地域包括支援センターの認知症コーディネーターが企画、運営。認知症専門医の協力を得て、地域性に基づいた講座開催場所を検討し実施していく。</p>
第1回（講義）	37名																
第2回（当事者によるお話し）	33名																
第3回（グループに分かれて施設見学）	20名																
※施設見学振返り	17名																
第4回（認知症の方への声かけ講座）	14名																
第5回（グループワーク）「地域で何が出来るか考えてみよう」	10名																

指定介護 予防支援	介護保険における予防給付等の対象となる要支援者への介護予防サービス計画の作成及び関係機関と連絡調整【継続】	令和元 年度継 続	<基幹型> 指定介護予防支援事業所として、契約・サービス担当者会議への出席・給付管理業務を実施 <在支・包括> 指定介護予防支援事業所として受託	・介護予防マネジメント（事業対象者）および介護予防サービスの利用者のサービス担当者会議には全件参加。 ・ケアマネジャーによる、自立支援に資するケアマネジメントが提供されるよう、毎週1回基幹型包括で介護予防検討会議をH31.7から実施し、284件の検討を行った。	
一般介護 予防事業	介護予防普及啓発事業【継続】	令和元 年度継 続	<基幹型> 普及啓発事業の検討 <在支・包括> 基幹型と連携して普及・啓発を実施	資料7-2 14ページ参照	